

音楽科

第1学年

育成を目指す資質・能力【「基礎・基本」の力】【思考力・判断力・調整力】【高い志とチャレンジ精神】

題材名

拍にのって、表情豊かに合唱しよう ～曲想と指揮表現の関わり～

1 日 時 令和5年 10月 11日(水) 第4校時 12:40～13:30

2 学年・学級 第1学年B組 (男子12名, 女子9名 計21名)

3 場 所 音楽室

4 題材の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につける。
- (2) 音色、リズム、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。
- (3) 歌詞が表す情景や曲想に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。

5 単元設定の理由について

(1) 題材観

中学校学習指導要領(平成29年告示)解説音楽編では、2内容(1)A表現(1)歌唱ア「歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を工夫すること。」

イ(ア)「曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景と関わらせて理解すること。」ウ(ア)「創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけること。」と示されている。

本題材は、小学校で歌われることも多く、比喩を効果的に生かしたわかりやすい歌詞で、未来への希望をもち、仲間とともに歩いていくことを訴える内容の楽曲である。前半[A]は、友達と過去の思い出を語り合っている内容の歌詞を斉唱で歌い、後半[B]は、未来に向かって力強く歩みだそうとする内容の歌詞を混声三部合唱で歌う構成で、8分の6拍子のリズムで作曲されている。

この楽曲を通じて、歌詞の内容を読み取り、15・16歳の今しか出せない歌声によって音楽に乗せて表現し、生徒一人ひとりの創造的な表現の能力を伸ばしたいと考えた。その手段として、「指揮」という身体的表現活動を取り入れた。身体的表現活動によって主体的に取り組むことで、歌唱や演奏表現を豊かに深くさせることにつながることをねらいとした。

(2) 生徒観

本題材に関して、9月にアンケートを実施した。

内容	あてはまる		肯定的	あてはまらない		否定的
	そう思う	やや		あまり	まったく	
① 歌唱の学習が好きである。	38%	39%	77%	23%	0%	23%
② 合唱が好きである。	30%	50%	80%	20%	0%	20%
③ 歌詞の内容や情景をイメージして歌唱することができる。	11%	69%	80%	20%	0%	20%
④ 合唱して感じたことを言葉で表現し、仲間に伝え合うことができる。	16%	45%	61%	39%	0%	39%
⑤ 自分の思いや意図をもって歌唱することができる。	6%	28%	34%	66%	0%	66%
⑥ 歌詞の内容から曲想を感じ取り、それを歌で表現することができる。	3%	25%	28%	72%	0%	72%

本学級の生徒は、音楽には積極的に取り組み、特に表現分野における歌唱では、集団で声を出して歌うことに対する抵抗感なく意欲的に学習に取り組む姿勢がみられる。しかし、豊かな発声や表現を追求するまでに至っていない。1学期で学習した「主人は冷たい土の中に」では、フレーズの歌い方の工夫や曲の作られた背景など学習し、ふさわしい歌唱表現に生かそうとする態度がみられたが、感じたことを言葉で表現したり、曲想を感じ取りそれを歌で表現したりすることが苦手な生徒が多く、「曲想を感じ取り、それを歌で表現することができる。」という質問に対して否定的な意見が72%であった。これは、単に声を出すことや楽譜に記されている記号だけを意識させる受動的なスタイルであったことが原因であると考えられる。

そこで、主体的に音楽表現に取り組むために、指揮と連動させて創意工夫させる活動を行う。

「身体的表現活動」を手段に、指揮を使って音楽表現を行い意欲的に取り組むことで、8分の6拍子のリズムの特徴を捉えたり、歌詞の情景にふさわしい音楽表現できる姿を目指す。

(3) 指導観

指導に当たっては、曲にふさわしい表現を工夫したり技能を習得したりするために、身体的表現活動である「指揮」を取り入れる。歌詞の表す情景や表現したいイメージを、強弱やリズムの変化に着目し、タブレットでCDを聴きながら個人で組み立てる場面を設定する。また、グループで撮影→視聴し、共有しながら創意工夫しようとしていることが指揮で表現できているか吟味させたい。中学校生活初めての指揮を体験し音楽表現することで、音楽を形づくっている要素（本題材では「強弱」「リズム」「構成」）の働きを意識して表現を工夫する学習を深めさせたい。また、本時で取り上げる「夢の世界を」は、11月4日に行われる「学習発表会」で歌唱する1曲である。学習の成果をステージで発表し、全員で作りあげる喜びや成就感を味わい、今後の歌唱表現活動への意欲に結びつけられるような指導を目指していきたいと考えている。

6 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。(知識)</p> <p>○創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけ、歌唱で表している。(技能)</p>	<p>○音色、リズム、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>○歌詞が表す情景や曲想に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>

7 単元の指導と評価の計画(全7時間)

学習活動	評価					
	知技	思判表	主体的	評価規準	評価方法	つけたい資質能力
○課題の設定(1時) 歌詞が表す情景や心情及び音楽の構造に関心をもち。			○	歌詞が表す情景や曲想に関心をもちている。	ワークシート 行動観察	【高い志とチャレンジ精神】
○情報の収集(1時) 曲の雰囲気をつかみ、どのように表現したいかイメージをもつ。	◎			曲想と音楽の構造や歌詞の内容やとの関わりについて理解している。	ワークシート 行動観察	【基礎・基本の力】
○課題設定(2時) 自分のパートの旋律をつかみ、正しい音程で歌う。	○			創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	行動観察	【基礎・基本の力】
○整理・分析(1時) ○表現(1時) 本時 曲にふさわしい歌い方をどのように表すかについて考え、指揮で表現する。		◎		音色、リズム、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	ワークシート 指揮 行動観察	【思考力・判断力・対応力】 【高い志とチャレンジ精神】

<p>○まとめ・表現（2時）</p> <p>歌詞の内容を味わい，思いや意図をもって曲にふさわしい表現で主体的に合唱する。</p>	○		<p>指揮で表現したり，創意工夫したことを生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身につけ歌唱で表している。</p> <p>◎ 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>演奏（歌唱）</p> <p>振り返り</p> <p>行動観察</p>	<p>【高い志とチャレンジ精神】</p> <p>【基礎・基本の力】</p>
--	---	--	--	---------------------------------------	---------------------------------------

8 本題材において育成しようとする資質・能力について
【思考力・判断力・対応力】【高い志とチャレンジ精神】

9 本時の展開

(1)本時の目標

歌詞の情景をイメージして曲想を感じ取り，曲にふさわしい歌い方を工夫する。

(2)本時の評価規準

リズム，強弱，音色を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，「夢の世界を」にふさわしい歌唱表現として思いや意図をもっている。

(3)本時の準備物

視聴用 CD・タブレット端末・イヤホン・イヤホンスプリッター

(4)本時の学習過程

学 習 活 動	指導上の留意事項（◇） （◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て）	評価規準〔観点〕 ★資質・能力（評価方法）
1 導入 [3分]		
○既習内容を確認し歌唱する。	◆前半 A と後半 B の曲想の変化を確認し，意識させて歌わせる。 ◇ 1 番のみ歌わせる	
2 ねらいを確認する [2分]		
○本時のめあてを確認する。	めあて 強弱やリズムの変化を感じ取り，ふさわしい歌い方を工夫することができる。	
3 本時のミッションを設定（確認）する [2分]		
○ミッションを知り，本時の学習の流れを理解する。	ミッション： マエストロンカップ！ 学習発表会のマエストロはあなた！	
4 情報を収集し，整理・分析し，問題解決をする [38分]		

<p>○CDを聴き、どのような指揮にするか教科書にメモする。</p> <p>○考えことを発表し交流する。(全体共有)</p> <p>○タブレットを使って個人練習をしながら、指揮の構想を練る。(個人)</p> <p>○班で交流しながら一つの指揮を完成させる。</p> <p>○1班分選出し(立候補)発表する。</p>	<p>◇はじめは、着目させる視点を与えない。</p> <p>◇鉛筆もしくはシャーペンで記入させる。</p> <p>【予想される生徒の反応】個人思考→ペアで共有</p> <p>前半 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞が「過去の思い出を語り合っている」内容なので、穏やかに柔らかく振る。 ・伴奏のリズムがなめらかなので優しく振る。 <p>後半 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞が「未来に向かって力強く歩もうとする」内容なので、力強く振る。 ・<i>f</i>なので、大きく振る。 ・伴奏が細かいリズムになるので、拍に勢いをつけて振る。 <p>◆生徒の発言をデジタル教科書で共有し、参考資料にする。(全体共有)</p> <p>◇自分以外の意見は赤字で記入させる。</p> <p>◇『「強弱」か「リズム」を表現する指揮』にする条件を与える。</p> <p>◇イヤフォンを使用し考えさせる。</p> <p>◇一人ずつの工夫した点を交流する。</p> <p>◇イアホンスプリッターを使用し、班で一つの指揮を組み立てさせる。</p> <p>◇教科書の楽譜にしっかり記入させる。</p> <p>◇強弱やリズムの変化など曲想を感じ取りながら指揮で表現させる。</p> <p>◇表現がより分かりやすい班を確認する。</p>	<p>★思考力・表現力・対応力</p> <p>(ワークシート・授業観察)</p> <p>リズム, 強弱, 音色を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え, 「手紙」にふさわしい歌唱表現として思いや意図をもっている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>
---	---	---

5 学習のまとめ・ふり返りをして、次時につなげる [5分]

<p>○本時の学習で学んだことや考えたことをまとめる。</p> <p>○まとめたふりかえりを発表する。(1人 or 2人)</p>	<p>生徒のふりかえり</p> <p>前半 A 過去を振り返る内容なので、懐かしい気持ちで柔らかく指揮を振り、歌うときは、昔の思い出を振り返りながら落ち着いて歌いたい。伴奏がなめらかなリズムなので、指揮は優しく振り、歌うときも優しい声で歌いたい。</p> <p>後半 B 未来に向かう内容なので、力強く指揮を振り、歌うときは大きな声で歌いたい。伴奏のリズムが小刻みになるので、拍をはっきりと振り、歌うときは前に進む感じで勢いをつけて歌いたい。</p>
---	---

(5)板書計画

めあて 

強弱やリズムの変化を感じ取り、
ふさわしい歌い方を工夫すること
ができる。

ミッション 

マエストロンカッフ!
学習発表会のマエストロはあなた!

ふり返り

前半 **A**

過去を振り返る内容なので、懐かしい気持ちで柔らかく指揮を振り、
歌うときは、昔の思い出を振り返りながら落ち着いて歌いたい。

伴奏がなめらかなリズムなので、指揮は優しく振り、歌うときも優しい声で歌いたい。

後半 **B**

未来に向かう内容なので、力強く指揮を振り、歌うときは大きな声で歌いたい。

伴奏のリズムが小刻みになるので、拍をはっきりと振り、歌うときは前に進む感じで勢いをつけて歌いたい。